

## ファイル名 ≠ ファイルの実体

- UNIXでのファイル名は必ずしもファイルの実体とは限らない。
- ファイルの実体は「i-node番号」で表す…  
`ls -i` で出てくる番号
- ファイルの内容のアクセスは、
  - ① ファイル名
  - ② ファイルの実体 ( i-node番号 )
  - ③ ファイルの内容の順で行われる

144

## 2種類のファイルの名前

- ハードリンク ( 実リンク )  
ファイルの本名。  
どんなファイルでも1つ以上のハードリンクを持つ。  
すべてのハードリンクがなくなるとファイルの実体が消される。
- シンボリックリンク ( ソフトリンク )  
ファイルの別名

145

## ハードリンク

- ls -l の出力で、-rw-r--r-- の右に出ている数字がハードリンクの数
- ln 実在名 新名 でハードリンクを張ることができる
- 実体が同じなので、同じi-node番号となる（確認してみよう！）
- 実体が同じなので、片方を修正すると他方も変わる

146

## シンボリックリンク

- ln -s 実ファイル名 新名 でシンボリックリンクが張れる
- 新名のモードは必ず lrwxrwxrwx になり、実際のアクセス権はリンク先のモードになる
- i-node番号は異なる（確認してみよう！）
- リンクを張り替える時は、古いリンクを（rmコマンドで）消去して、張り直す
- 実体が消されても、リンクは残る（もちろんたどれない）

147

## ディレクトリのリンク

- ディレクトリに対しては、ハードリンクは張れないが、シンボリックリンクは張れる
- このリンクの消去はrmコマンドで行う

148